

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2013 New Year



- 年頭のごあいさつ 阿久津地区ガバナー
- 第59回世界大会ハンブルク情報 地区大会参加委員会
- キャビネットだより 地区キャビネット情報
- 地区内クラブだより 地区内クラブ情報
- 街で見かけるライオンズ活動の軌跡 地区内活動情報
- 第59回地区年次大会 地区キャビネット情報

撮影：L中吉 淳喜



年頭のご挨拶

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ガバナー 阿久津 隆文



新年明けましておめでとうございます。メンバーの皆様におかれましては本年はどのような年になるでしょうか?是非、メンバーの皆様方と共に良い年にしたいと存じます。

昨年は各クラブそしてメンバーの皆様方には大変お世話になりました。昨年の“ライオンズ奉仕デーPart 1”の10月8日都庁前広場では青少年健全育成事業である「薬物乱用防止運動」並びに「日本へのオリンピック・パラリンピック招致運動」を行い1500名を超えるメンバーはじめとする参加者により行われました。“Part 2”の10月20日には東日本大震災復興支援として日比谷公園での女川さんま収穫祭に500名を超えるメンバーがボランティアとして参加協力頂きました。一般の方々へのライオンズクラブのPRも致しました。そして今期のガバナーズテーマである協調、そして融和がライオンズ奉仕デーの目的の基に各クラブ・メンバーが実行されました。今期の事業は委員会を中心とし開催致しております。担当委員会の方々のご尽力に感謝を申し上げます。また、これに協力して頂きましたリジョンチェアパーソン並びにゾーンチェアパーソンの方々に感謝申し上げます。そして参加頂きました各クラブ会長はじめとするメンバーの皆様に心より感謝申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もキャビネットへのご協力をお願い申し上げます。





年頭のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2013年は、日本ライオンズにとって、国際第二副会長を日本から輩出する、大変重要な年になります。私は現在候補者として選挙活動を行っておりますが、一人で立候補しているとは思っておりません。全員でその役職を獲得し任務を遂行する、つまり日本のメンバー全員が国際会長になることを目標とした、いわば日本ライオンズの繁栄のための選挙と考えております。

政治経済を含めた、日本全体の復興は地元から。地元力はライオンズから。全国3200クラブのクラブ会長が中心となり、日本の10万人のメンバーが地域のリーダーとして活動を行うことが、国興し、ひいては世界をリードすることに繋がると確信しております。

失われた20年を取り戻すには、もはや政治家だけに国を任せるわけにはいきません。忘れ去られた日本の大切な心も今一度呼び起こすため、我々が一丸となってライオンズの高揚に励んでいくことが大切です。地域社会と人道奉仕におけるグローバルリーダーを目指し、日本の国興しをアクティビティにしたい。そんな熱い思いを胸に頑張っていきたいと思います。

夏、水の都ハンブルクでお会いするのを楽しみにしております。



国際第二副会長候補者
L 山田 實紘

第96回ライオンズクラブ国際大会

ドイツ、ハンブルク 大会公式行事予定 (変更される場合があります)

2013年7月5日(金)～7月9日(火)

7月5日(金曜日)	10:00～17:00	展示ホール及び大会サービス・センター - ハンブルク・メッセ& kongress (HMC)
	19:30～22:30	地区ガバナー・エレクト祝賀晩餐会 - Schuppen 52
7月6日(土曜日)	10:00～	インターナショナル・パレードの開始
	10:00～17:00	展示ホール及び大会サービス・センター - ハンブルク・メッセ& kongress (HMC)
	19:00～20:15	インターナショナル・ショー - O2ワールド・ハンブルク・アリーナ
7月7日(日曜日)	10:00～13:00	初日総会 - 会長講演、国旗式、インターナショナル・パレード結果発表 - O2ワールド・ハンブルク・アリーナ
	10:00～17:00	展示ホール及び大会サービス・センター - ハンブルク・メッセ& kongress (HMC)
	14:00～17:00	セミナー - ハンブルク・メッセ& kongress (HMC) 及び kongress・センター・ハンブルク (CCH)
	15:00～17:00	会員キー賞アイスクリームを囲んでの集い - kongress・センター・ハンブルク (CCH)
7月8日(月曜日)	10:00～12:30	二日目総会 - 追悼式、第二副会長及び国際理事の指名 - O2ワールド・ハンブルク・アリーナ
	10:00～17:00	展示会場及び大会サービス・センター - ハンブルク・メッセ& kongress (HMC)
	13:00～17:00	セミナー - ハンブルク・メッセ& kongress (HMC) 及び kongress・センター・ハンブルク (CCH)
	13:30～15:00	メルビン・ジョーンズ・フェロー昼食会 - kongress・センター・ハンブルク (CCH)
	16:00～17:00	ジャパンレセプション
	17:00～20:00	ガバナー晩餐会
7月9日(火曜日)	07:30～10:30	投票及び大会サービス・センター - ハンブルク・メッセ& kongress (HMC)
	10:00～13:30	大会閉会式 - 2013-2014年度国際会長就任宣誓式、国連旗贈呈式、2013～2014年度地区ガバナー就任宣誓式 - O2ワールド・ハンブルク・アリーナ
	19:00～21:00	国際役員レセプション - グランド・エリゼ・ホテル

第96回ライオンズクラブ国際大会が2013年7月5日(金)～7月9(火)までの日程でドイツのハンブルクにて開催されます。

地区国際大会委員会ではドイツのハンブルクまでのアクセス並びに街のアクセスなどの視察のため現地に出向き調査してきました。

ハンブルク市概要

ドイツ連邦共和国の北に位置する。時差は8時間。7月の平均気温は、最高気温22℃ 最低気温13℃

日本からの直行便無し。経由地は、パリ(フランス)・ロンドン(イギリス)・ウィーン(オーストリア)・アムステルダム(オランダ)・チューリッヒ(スイス)・ヘルシンキ(フィンランド)・イスタンブール(トルコ)・フランクフルト(ドイツ)・ミュンヘン(ドイツ)・コペンハーゲン(デンマーク)・ドバイ(アラブ首長国連邦)。

成田 ⇒ パリ	約12時間45分	パリ	⇒ ハンブルク	約1時間30分
成田 ⇒ ロンドン	約12時間40分	ロンドン	⇒ ハンブルク	約1時間40分
成田 ⇒ ウィーン	約11時間55分	ウィーン	⇒ ハンブルク	約1時間40分
成田 ⇒ アムステルダム	約11時間35分	アムステルダム	⇒ ハンブルク	約1時間5分
成田 ⇒ チューリッヒ	約12時間35分	チューリッヒ	⇒ ハンブルク	約1時間30分
成田 ⇒ ヘルシンキ	約10時間20分	ヘルシンキ	⇒ ハンブルク	約2時間5分
成田 ⇒ イスタンブール	約12時間15分	イスタンブール	⇒ ハンブルク	約3時間20分
成田 ⇒ フランクフルト	約11時間50分	フランクフルト	⇒ ハンブルク	約1時間5分
成田 ⇒ ミュンヘン	約12時間20分	ミュンヘン	⇒ ハンブルク	約1時間20分
成田 ⇒ コペンハーゲン	約11時間35分	コペンハーゲン	⇒ ハンブルク	約50分
成田 ⇒ ドバイ	約11時間55分	ドバイ	⇒ ハンブルク	約6時間55分

国内主要都市からの所要時間は、ベルリンから電車で1時間強、フランクフルトから飛行機で約1時間5分・電車で約3時間、ミュンヘンから飛行機で約1時間20分・電車で約6時間。

市内の交通手段

●電車

ハンブルク中央駅を中心に、Sバーン(電車)・Uバーン(地下鉄)路線が発達しており、安心して乗車できる。

※乗車の際の注意点:自動券売機で切符を購入するが、改札がない。抜き打ちで提示させられる。3回持っていないことが見つかったと前科になる。乗り降りの際、電車の扉は自分で開ける。



●バス

近場を回るには便利。

※電車とバスの切符は共通

近距離乗車券	1.4 ユーロ
1日乗車券	6.95 ユーロ
3日間乗車券	16.8 ユーロ

●タクシー

初乗り	2.8ユーロ
その後1キロごとに	1.93ユーロ

ハンブルクカード

ハンブルクカードには1日有効のほか、3日間有効、5日間有効なものがある。これは、1枚で大人一人と15歳未満の子ども3人が使用できるというお勧めのカード。また、5人までのグループが使えるグループカードもあり。これらのカードでは、市内の美術館や博物館に無料または割引で入場できる。
ハンブルクカード:1日有効 8.90ユーロ、3日間有効 €20.90、5日間有効 €36.50
グループカード :1日有効 €14.50ユーロ(3日間、5日間有効もあり)

国際大会時の主要施設

- アルスター湖 パレード会場
- ハンブルクメッセ 投票所

▼コンベンションセンターハンブルクメッセとともにセミナー会場



●O2アリーナ 閉会式会場



- ◎ハンブルク国際空港 ⇒ ハンブルク市庁舎まで タクシーで約20分
 - ◎ハンブルク市庁舎 ⇒ ハンブルク中央駅まで 徒歩約20分
 - ◎ハンブルク中央駅 ⇒ ハンブルクメッセ・コンベンションセンター・ハンブルク(CCH)まで
ハンブルク中央駅からS21号線に乗り一駅目「Dammtor (Messe / CCH) 下車 メッセまで徒歩約15分、CCHまで徒歩3分
 - ◎ハンブルク中央駅 ⇒ O2アリーナまで
ハンブルク中央駅からS21号線に乗り七駅目「Eidelstedt」駅下車 徒歩20分
- ※六駅目に「Stellingen」という駅があり駅名に「Arena」とかかれているが、ここで降りると人通り・車通りの少ない道を歩くことになるのでこの駅で下車しないほうがよい

観光

◎市庁舎

100年前に建てられた建造物です。

◎赤レンガ倉庫街

港の近くにあり、古い街並みと、新しくできたデザインズマンション群が見事にマッチしています。

◎ミニチュア博物館

模型を使ってドイツの街並みを忠実に再現しています。

◎ホーンテッドマンション (お化け屋敷)

ディズニーランドのホーンテッドマンションのようなもので、乗り物に乗って館内を巡ります。

◎ナイトスポット・レーパーバーン



行ってみよう!

- ①ハンブルク中央駅からS21号線に乗ります。「Hauptbahnhof」というのが「ハンブルク中央駅」のことです。
- ②S21号線「ElbgausstraBe」行きに乗りましょう。
- ③ハンブルク中央駅から7分目「Eidelstedt」駅に到着。駅の出入り口は一つです。駅を出たら左へ、大通り沿いに進んでください。
- ④まっすぐ道なりに5分ほど歩くと「O2world」と書かれた青色の看板が見えます。この交差点を右へ曲がり、また道なりに5分ほど歩きます。
- ⑤5分ほど歩くと、左側に、林の中からO2アリーナが見えてきます。
- ⑥まもなくすると、道路の中央分離帯に立っている、「2min」と書いてある赤いポールが見えてきます。
- ⑦このポールのある交差点を左に曲ると到着です(実際にはアリーナの裏口に到着します) おそらく当日はライオンメンバーの方がたくさんいると思いますので迷いごはなしです。



食事

▼肉料理：ブロックハウス

▼ハンバーガー：ジム・ブロック

▼イタリアン：ラ・デルゴラドゥー

▼Franziskaner地元で人気のレストランです。▼シーフード：Hamburger Fischerstube



第2回キャビネット会議が開催される

11月26日 AP西新宿

地区キャビネット

2012年11月26日(月)AP西新宿に於いて「第2回キャビネット会議」が開催された

会議ではガバナー提出案件として2011～2012年度地区一般会計決算報告などが承認されたほか、2012～2013年度一般会計収支報告並びに2012年10月のライオンズ奉仕デーの中間収支報告も行われた。また、次期地区ガバナー・第1及び第2副地区ガバナー選出に関する件として立候補届け出日、資格審査日、選挙運動期間、立会演説会などについて提案があり承認された。このほか第59回年次大会が2013年4月20日(土)東京プリンスホテルにて開催され、大会での規則などに関する事なども承認された。さらに各位からの提出案件として、「10」リジョン内のゾーン再編について」「副地区ガバナー選挙についての答申」などが承認された。詳しくは地区ホームページをご覧ください。



地区「会員増強・会員維持ワークショップセミナー」が開催される

11月27日 スクワール麹町

地区会員増強委員会、クラブサクセス委員会



2012年11月27日(火)330-A地区「会員増強・会員維持ワークショップセミナー」が四谷の「スクワール麹町」に於いて行われた。地区内のクラブ会長や、入会三年未満のメンバーを対象にしたこのセミナーでは、選ばれた地区内のメンバーから「会員増強の現状」「会員増強の成功体験」「会員維持と退会者の防止策 成功体験談」など体験談が発表されたのち、グループに分かれて、「会員増強」「会員維持」についてグループ討議が行われた。その後のグループ発表と質疑応答では活発な意見交換が行われた。

なお、地区会員増強委員会の呼びかけで地区役員が推薦する「会員増強モデルクラブ」(年度末純増会員10名以上を目標とする)を募ったところ、以下のクラブが意思を表明されました。敬意を表するとともに、本紙面にて公表いたします。

会員増強モデルクラブ(2012年12月27日現在)			
1	1R1Z	東京丸の内LC	推薦者1R-RCL高橋芳子
2	1R3Z	東京葵LC	推薦者1R-RCL高橋芳子
3	1R3Z	東京ワンハンドレッドLC	推薦者1R-RCL高橋芳子
4	1R3Z	東京蒼天LC	推薦者1R-RCL高橋芳子
5	8R1Z	東京豊島LC	推薦者8R-RCL奥山 慎
6	10R3Z	東京シティLC	推薦者会員増強副委員長L重信真一
7	5R2Z	東京江戸川LC	推薦者5R-RCL石田 健
8	13R2Z	東京田無LC	推薦者第2副地区GL塩月藤太郎
9	6R2Z	東京鶯谷LC	推薦者6R-RCL北条章宏
10	14R1Z	東京八王子陵東LC	推薦者元ガバナーL石井征二
11	11R1Z	東京新都心LC	推薦者11R-1ZRCL山岡祥宏
12	10R3Z	東京世田谷LC	推薦者10R-3ZZCL中村善子
13	4R2Z	東京江東南LC	推薦者第一副地区GL鈴木定光
14	3R3Z	東京赤坂LC	推薦者地区ガバナーL阿久津隆文
15	14R1Z	東京八王子高尾LC	推薦者14R-RCL吉岡忠

第一回「薬物乱用防止教育講師認定」新規・更新養成講座が開催される

11月13日 国立オリンピック記念青少年総合センター

地区薬物乱用防止委員会

薬物乱用防止教育ゴールド認定証授与および認定講師スキルアップ講習会

2012年11月13日(火)国立オリンピック記念青少年総合センターにて地区薬物乱用防止委員会が主催する“第一回「薬物乱用防止教育講師認定」新規・更新養成講座”が開催された。また同時“薬物乱用防止教育ゴールド認定証授与および認定講師スキルアップ講習会”が行われた。講習会では330複合地区薬物乱用防止委員会委員長の宇田川元ガバナーから認定制度の創設時の話があったほか、申請のあったゴールド認定者は12名全員が認定証を阿久津ガバナーより授与された。スキルアップ講習会参加者は17名。また教育認定新規・更新の養成講座が開催され、講師の前国際連合麻薬・犯罪事務局事務局長の藤野彰氏から「世界の薬物事犯の事情」と題した講演があった。さらに医学博士万本盛三、警視庁警部森浩史氏、東京都福祉保健局主任阿部朋宏氏の講演があり、最後に麻薬覚せい剤乱用防止センターの阿部俊三部長より講評を頂いて終了した。講習会出席者は新規53名、更新18名でした。次回の第二回養成講座は2013年2月25日、立川商工会議所にて開催される予定。



麻薬・覚醒剤乱用防止運動東京大会が行われた

11月25日 よみうりホール

厚生労働省、東京都ほか主催

2012年11月25日(日)厚生労働省、東京都、東京都薬物乱用対策推進本部、東京都薬物乱用防止推進協議会が主催する「麻薬・覚醒剤乱用防止運動東京大会」が有楽町の“よみうりホール”にて行われ、青少年およびその保護者世代の薬物乱用の撲滅を強く訴えた。この大会は薬物乱用の根絶をめざし、全国で一斉に行われている麻薬・覚醒剤乱用防止運動(10月1日から11月30日まで)の一環として開催され、特に近年、違法ドラッグ(脱法ドラッグ)の乱用や拡大が懸念されていることから、その防止を重点に、薬



物乱用防止高校生会議に参加した高校生の活動成果発表や、モデルや俳優、Jリーガーなど各界で活躍する人たちのパネルトークが行われた。ライオンズクラブからは地区を代表してL柳屋隆薬物乱用防止委員会委員長が来賓としてあいさつした。

東京剣道ライオンズクラブに見る新たなクラブ運営

11月18日

東京剣道LC



今大会には821名の選手が参加

2012年11月18日(日)東京剣道ライオンズクラブは中野区立中野体育館に於いて「第8回剣道ライオンズ少年剣道大会」を主催した。同大会は東京いの木ライオンズクラブ、東京赤坂ライオンズクラブ、中野区剣道連盟、東京中野ライオンズクラブ、東京杉並ライオンズクラブの後援を得、江戸川区剣道連盟、葛飾区剣道連盟、渋谷区剣道連盟、新宿区剣道連盟、杉並区剣道連盟、世田谷区剣道連盟、三鷹市剣道連盟の協力を得て開催され、今年は821名の少年少女剣士が参加した。

この日の熱戦は午後3時ごろまで続いた

広い会場では6試合場が設けられ、常に6試合が開催されたが、審判員らも交代で食事をとりながら午前10時ごろから始まった試合は午後3時ごろまで続いた。このような少年少女剣士の大きな大会は東京都内でも珍しく、毎年参加者が増え続けているという。クラブ会長は「ライオンズクラブの基本理念、知性と友愛を重んじ、剣道を通じてこれからの日本を担う青少年に活力と勇気を与え、社会に貢献できる若者を一人でも多く育てていき、世界に通じる国際社会人になってもらいたい」としている。さらに参加選手は「剣を交え相手を敬い日本の伝統文化である剣道を正しく理解し、正々堂々と試合をして大会を盛り上げ、思い出に残してもらいたい」と呼びかけた。

会場内は熱気に包まれ、声が会場の外にまで響く

会場は朝早くから駆けつけた少年少女剣士らと、応援や付添いの人たちでごった返し、広い会場も足の置き場に迷うほどの熱気に包まれた。試合が進んでもなお、会場の外でも竹刀を振る剣士たちで、会場内外に声が響いていた。



45名もの会員を擁する剣道クラブの運営

さて、こうした少年少女剣士の励みとなる大きな大会を主催して、クラブの主たるアクティビティとしている同クラブは現在45名の会員が在籍し、毎年会員が増加しているという。いったいどのようなクラブ運営をしているのが取材してみた。

年会費はわずか3万円だが毎月例会を開催

わずか3万円の年会費だが毎月の例会を中野体育館内の会場でやっている。会員のほとんどが剣道の高段者(5段以上)で、多くは剣道を通じての知人、あるいは先輩や後輩である。例会もほとんどの人が顔見知りや親しい仲間たちである。45人も会員がいると、知らない人や、あまり話したことが無い人など、普通のクラブではなかなか全員を熟知するのが難しくらいだが、ここではそうしたことは無いようだ。

剣道未経験者も入会受入れ

剣道の有段者で師範代ばかりのクラブと思いきや、現在(取材時)のクラブ幹事は入会5年目になるそうだが、剣道は未経験で、入会してから始めたとのこと、それでも今年有段者となられたそう。

武士道を感じるクラブ運営は参考になることが多い

このようにして、武士道を感じる同クラブの運営は、最近、多くのクラブに見るホテルでの会食を伴う例会運営や、クラブ間の交流、セミナーや周年式典などの華やかな運営を考えさせられる面もある。同クラブの運営や青少年育成の奉仕活動に興味をもたれたメンバーは、例会訪問や、剣道大会をご覧になってみてはいかがでしょうか。



地区内クラブだより

葛飾区小中学校で薬物乱用防止教室

12月8日

東京江東南LC、東京葛飾LC

2012年12月8日(土)東京江東南LCのL徳田修一(薬物乱用防止認定講師)は東京葛飾ライオンズクラブのL館親光(薬物乱用防止教室認定講師)の要請を受けて葛飾区立新宿(にいじゅく)小学校ならびに葛飾区立常盤中学校にて「薬物乱用防止教室」を実施した。新宿小学校では教室において6年生名の51名生徒が参加し、常盤中学校では体育館にて全校生徒(551名)が参加した。「防止教室」の内容は学校側の紹介を受けたメンバーがライオンズクラブの概要を説明した後、認定講師を紹介する。紹介された認定講師はまず、DVDを上映して「薬物の恐ろしさ」を知ってもらった後、「なぜ一回でもだめなのか」をさまざまな例で説明し、「どのように気をつけたらよいか」「それでも誘われたら」など具体的な話をするなど約45分~50分程度の教室だが充実した内容になっている。東京葛飾ライオンズクラブからは葛飾区内の小中学校を中心に江東区内、東久留米市内の小中学校区からも要請を受け、ほぼ毎月のように1回から4回程度一日に2校の学校で「防止教室」を実施している。

参加メンバー、葛飾LC横山会長・葵LC遠藤L・法政LC後藤L・江戸川LC天辰L・江東南LC石渡会長・渋川会計・L徳田修一



新宿区の西新宿小学校で薬物乱用防止教室を開催

12月11日

東京新都心LC

2012年12月11日(火)東京新都心ライオンズクラブは地元新宿区の西新宿小学校の要請を受け、「薬物乱用防止教室」を実施した。「教室」に参加したのは西新宿小学校6年生の生徒約40名で保護者数名と校長先生を含めた教師3名も加わった。講師として江戸川5クラブ青少年育成委員会所属の薬物乱用防止認定講師のL茅島純一(東京江戸川東LC所属)を招請して実施したもので、東京新都心ライオンズクラブのクラブ

会長も、今後も都心の小学校で「薬物乱用防止教室」を実施したいと話している。



児童養護施設の要望に応じて高機能掃除機を寄贈

10月10日

東京両国LC



2012年10月10日(水)東京両国ライオンズクラブは、満1歳以上18歳までの児童で、親や家庭を失ったり、保護者と一緒に暮らすことのできない、特別な事情があるとき、児童相談所(東京都内に限る)の決定を経て受入れている児童養護施設「伊豆長岡学園」からの要請を受け、高機能掃除機三台を寄贈した。同クラブでは「子供たちへのアクティビティ」を軸とした方針を掲げており、四つ木にある『希望の家』の関連施設「伊豆長岡学園」を知ったという。東京都や伊豆長岡市の運営から民間運営になり、虐待を受けた2歳から18歳まで約50名の児童を収容して育てている同施設を、東京両国ライオンズクラブではできる限りサポートしたいと話している。

中野サンプラザで“青空コンサート”と薬物乱用防止キャンペーンを実施

11月25日

東京中野LC



東京中野ライオンズクラブは2012年11月25日(日)中野区のJR中野駅近くの“中野サンプラザ広場”において“中野区安全宣言「住みたいまちNo.1・中野が一番」”とするキャッチフレーズの下、「ダメ・ゼッタイ」薬物乱用防止キャンペーンを実施した。同クラブでは「近年、覚醒剤、大麻、麻薬などの薬物乱用はわれわれ大人が考える以上に子供たちの身近に迫っている。大人がその恐ろしさを認識することが大切であり、中野区に限らず住宅地では違法なハーブや違法ドラッグなどが出回っている。東京中野ライオンズクラブでは長年青少年育成事業として薬物乱用防止を訴えてきた、市民レベルでの意識の向上に寄与したい」としており、この日は中野区教育委員会ほかの後援を得て、堀越高等学校吹奏楽団や中野区立第七中学校による“青空コンサート”や薬物乱用防止キャラバンカーを展示するなどして街を行きかう人たちに呼びかけていた。

台東区の特別支援学級児童を招待

11月28日

第6リジョン2ゾーン合同アクティビティ



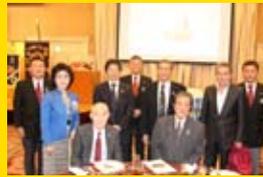
330-A地区第6リジョン第2ゾーンの6クラブでは、ゾーン内の友好と親睦を図る目的と地域に密着したアクティビティの一環として永年に亘り、台東区立特別支援学級の児童達を遠足にご招待するというアクティビティを継続して行っており、今年も11月28日(水)に台東区立金竜小の児童17名、松葉小8名、蔵前小12名の計37名を三鷹の森ジブリ美術館見学、井の頭公園の散策、井の頭動物園に招待し、楽しい一日を過ごした。児童37名と、学校側教職員26名、区教育委員会関係者2名、保護者3名、ライオンズメンバー23名の総数91名が早朝8時から2台の大型バスで現地に向かい、8班に別れ、まずジブリ美術館を見学。ライオンズメンバーや先生と手と手を繋ぎ、アニメ映画を観たり、ねこバスに乗ったり、ラピュタロボットに触れるなどして、楽しい一時を過ごした後、井の頭公園を散策しながら井の頭動物園に移動。動物園内の会議室でライオンズが特注したお弁当を全員で食べ、パンダを象ったおにぎりに歓声があがった。昼食後、再び動物園内を散策し、さる達が体を寄せあって寒さを凌ぐ姿や、リスが巣から飛び出し木から木へと移る姿などを見学し、さらにふくろうの大きさに驚いたり、モルモットを直接抱っこして喜ぶ児童達は普段体験出来ない経験にとっても満足した様子。例年より早い冬の訪れを感じさせる一日であったが、児童達もライオンズメンバーも手と手を繋ぎ、会話を交わしながらの一時に、ライオンズクラブメンバーも心暖まる気分を味わい充実した一日であった。さらに後日、参加した児童達全員からお礼の手紙や画集が参加したライオンズメンバーらに届けられ、メンバーらも、あらためて有意義な一日だったと喜んでた。このアクティビティの資金は6R2Z合同親睦チャリティゴルフ大会の剰余金などで賄われ、今後も継続アクティビティとして実施してゆく予定とのこと。

チャーターナイトを記念して被災地の子供たちを支援

11月14日

東京江戸川東LC

東京江戸川東ライオンズクラブは、2012年11月14日に行われたチャーターナイト32周年記念例会に於いて、記念アクティビティとして「いわて復興エイド基金」に¥1,307,732円を寄贈した。同クラブでは2012年10月18日に同クラブが主催して実施したチャリティ上映会「大津波のあとに」でみなさまからお預かりした義捐金と、クラブのメンバーであるL御厨正敬の会社で行われたチャリティゴルフ会に同クラブメンバーらが参加するなどして集められた義捐金などがさらに同クラブに寄贈を託され、今回の支援活動に発展した。寄贈した「いわて復興エイド基金」とは、東日本大震災により親を亡くした子供たちに少しでもエイド(援助)したいとの志を持つ岩手県内のプロゴルファー金谷嶺孝氏らが、岩手にゆかりのある深堀圭一郎氏(プロゴルファー)や岩村明憲選手(楽天イーグルス)などの多くのプロスポーツ選手の協力を得て立ち上げたプロジェクトであり、支援の手が回りにくい施設や子供たちに全額届けるという復興支援団体である。同クラブではこの「いわて復興エイド基金」への協力を求めている。



「いわて復興エイド基金」のホームページ
<http://www.iogolf.jp/iwateaid/index.html>

地区内クラブだより

泉岳寺「義士祭」でチャリティ販売、身体障害者らを支援

12月14日

東京高輪LC

東京高輪ライオンズクラブでは2012年12月14日(金)東京都港区の泉岳寺下の稲荷神社前にて、この日“泉岳寺”にて行われた「義士祭」に因んで“赤穂物産品のチャリティ販売”を実施した。この販売の収益金は同クラブが支援している身体障害者施設などに寄付される。同クラブでは毎年行っている恒例の事業で、今年も例年どおり行われ、収益の一部が寄付される。また、同クラブは泉岳寺と関係の深い兵庫県の赤穂ライオンズクラブと交流があり「義士祭」でのチャリティ活動を続けている。今年には福祉作業所「らびーる」の製品販売にも協力し、さらに同クラブでは視覚障がい者の支援も行っている。「施設を訪れ、喜んでもらえるのが励みになっています」(クラブ会長L古島伸二)と明るい笑顔で話してくれた。この日は“赤穂浪士討ち入りの日”とあって赤穂浪士に扮した地元の人たちのパレード(討ち入り報告の模擬行列)もあり、泉岳寺は大賑わい。チャリティ販売のメンバーやレディも行きかう人たちに声をかけて活動した。



クラブ例会で救急救命講習会を実施

11月7日

東京練馬西LC



東京練馬西ライオンズクラブはクラブの例会(11月第一例会、例会場はホテルカデンツア光が丘)に、東京光が丘消防署救急係より講師を招き、「救命講習会」を開催した。講習会では多くの公共施設などに設置されているAEDの使い方や、人工呼吸法、胸部の圧迫など、救急救命に関する基礎的な知識を学び、模擬生体を使って体験した。当日は11名のメンバーが参加し、消防署も「救命効果を高めるためには、その場に居合わせた人による応急手当てが重要であり、より多くの方々に救命講習を受講してほしい」としている。



YE生を受け入れ日本の文化を体験

12月15日

東京八王子高尾LC



東京八王子高尾LCでは2012年12月15日より27日までシンガポールよりYE生が来日した。同クラブがYE生を受け入れるのは実に7年ぶりとのこと、昨年入会した若いメンバーがYE生受け入れに関心を持ち積極的に準備を進めてきた結果だ。同クラブメンバーらは「新しい風が入ってきた」と歓迎している。YE生は八王子に到着した翌日、メンバーが習っているお茶の教室を訪問して教室を体験し日本の文化を感じた。同クラブではメンバーのお嬢さんやその友人と東京見物に行くなどして「以前経験したYE生の受け入れとは違った方法で2週間過ごしてもらいます」としている。(情報提供L増田克哉)



子どもたちが、自らで育てたお米で餅つき

12月12日

東京秋川LC

2012年12月12日(水)東京都あきる野市立五日市小グラウンド並びに体育館に於いて、今年6月東京秋川ライオンズクラブが「米作り青空教室」(本誌で紹介)として同校の児童らに指導して、田植え体験してもらったもち米が収穫時期を迎え、まさに自らが植えて育てたもち米を炊いての“もちつき大会”が同クラブ主催で行われた。寒空が広がるこの日は全部で60kgの“おもち”をつかなくてはならないので、早朝からメンバーも張り切って、準備に大忙しになった。地区ガバナーも駆けつけ、子供たちと共にもちつきに参加した。5年生の子供たちはクラブが用意したお揃いの赤いTシャツ(前面はゴーヤチャンブルマンのオリジナルデザイン・背中はライオンズマークを印刷)を着てもちをつくが、杵がなかなか思うよう“おもち”にあたらぬが、一生懸命杵をふりおろしていた。蒸したもち米を、つまんで



食べたりしながら、楽しいひと時が過ぎ去り、農協婦人部や5年生のおかあさん達のお手伝いで、あん入りもち、きなこもち、だいこんすりもちと、手際よく作り、全校生徒に配布された。子供たちから感謝の気持ちをこめて「稲をありがとう」という歌をプレゼントされたライオンズメンバーも満足した様子で、校長先生から「ぜひとも 来年もお願いしたい」と言う要請を受けると「子供たちの感謝の気持ちを、確かに受け止めました」と答え、同クラブは継続アクティビティとして行おう予定。

岩手県大船渡市の保育園にクリスマスプレゼント

12月13日

東京神楽坂LC

2012年12月13日(木)東京神楽坂ライオンズクラブは岩手県大船渡市内の合計13園もの保育園に色紙5000セット、ディンプルソフトドッジボール4個セット、携帯カイロ等をクリスマスプレゼントとして届けた。また、保育園では同クラブメンバーらがサンタクロースに扮そうして、紙芝居を披露するなどして園児たちと交流し、被災地の幼児らを励ました。プレゼントに長靴に入ったお菓子などをもらった園児たちは思わぬプレゼントに目を丸くしながら喜んでた。地区内のライオンズクラブではこうした被災地を訪れての支援活動が続けられている。同クラブのメンバーは“みんな頑張れ”と応援していた。



被災地を訪問して記念例会

10月13日~14日

東京晴海LC



東京晴海ライオンズクラブは毎年10月に行っている旅行例会に宮城県の被災地を訪れ、被災地の復興状況などを視察し、案内してくれた現地(332-C地区)の石巻中央ライオンズクラブのメンバーと

交流し、松島、石巻、女川地区を周り、330-A地区の支援により建てられたコインランドリーやLCIFの資金で設置されたトレーラーハウスなどを見学するとともに、支援金として50万円を手渡した。同クラブのメンバーの話によると「震災の被害を受けた現地では瓦礫の処理は進んでいるものの、使用されていない学校。移転に決まった町、地盤が沈下してしまった町の光景から、復興にはまだまだ支援が必要だと感じた」とのことで今後の支援も検討したいとしている。



地区内クラブだより

参詣者が通る池上本門寺前で署名活動

1月3日

第9リジョン合同

2013年1月3日(木)参詣者らが訪れる池上本門寺参道にて“2020年オリンピック・パラリンピック招致運動”の一環として署名活動を行った。約40名のメンバーらが参道を行きかう人々に、“2020年に東京でオリンピック・パラリンピックを招致しよう”と呼びかけ、署名を募った。この日は第9リジョン1ゾーン2ゾーンのメンバー約40名らのほか地区ガバナー、キャビネット幹事、オリンピック・パラリンピック招致委員会委員長や委員らも参加して午前10時ごろから行われ、午後2時ごろまで続けられ計1726名の署名を集めた。好天に恵まれメンバーらはさわやかな表情で、活動の結果にも手ごたえを感じていた。



池上本門寺の境内で元旦から献血の呼びかけ活動

1月2日～3日

東京蒲田LC、東京羽田LC、東京ウイングLC



年が明けた2013年1月2日～3日多くの参詣者が訪れる池上本門寺境内にて日本赤十字社が献血カーにて行う“献血者の呼びかけ”活動が行われた。東京蒲田ライオンズクラブらに依るこうした正月早々からの活動は、すでに15年以上にも亘り続けられている。今年も東京蒲田ライオンズクラブ、東京羽田ライオンズクラブ、東京ウイングライオンズクラブの三クラブが交代で参詣者らによびかけた。日本赤十字社は池上本門寺の許可を得て、同境内の山門付近くで同寺に参詣する訪問者を待ち受けるようにして活動を実施している。今年はNPO団体“世界の子供にワクチンを日本委員会”とも協力して活動を行った。この日の献血者は220人と報告された。



恒例となった浅草寺雷門前で献血の呼びかけ

1月2日・3日

第6リジョン1Z合同



東京浅草ライオンズクラブの献血活動が始まったのは、今から40年以上にも前にさかのぼる。昭和41年の同クラブの会報誌に依ると、このころ自身が献血するなどの奉仕活動を行っていたが、やがて地元の消防署などを通じて日本赤十字社との交流がきっかけで献血者の呼びかけ活動が始まった。今年も2013年1月2日～3日の二日間に亘り呼びかけ活動を実施した。浅草ライオンズクラブ(会長L菱岡敏光)が中心となり、東京蔵前LC、東京飛翔LC、東京秋葉原LC、東京御茶ノ水LC、東京鳥越LCのメンバーら約50名が参加して行われた。二日間で200名の献血者があった。さらに今年は“2020年オリンピック・パラリンピック招致を呼びかける署名運動”を実施して多くの通行人らから署名を集めた。なお、第6リジョンでは第2ゾーンのメンバーを中心に2013年1月19日(土)にも上野公園東京文化会館付近にてオリンピック招致の署名運動が行なわれる。



数寄屋橋交差点で街頭活動

10月20日

第1リジョン第1ゾーン合同

2012年10月20日(土) 地区内の多くのメンバーは日比谷公園において“東日本大震災の被災地である宮城県の女川市を応援する活動”を実施していたが、第1リジョン第1ゾーンのメンバーらは港区内の数寄屋橋交差点において、アイバンクの募金活動、盲導犬の募金活動、併せて2020年東京へオリンピック・パラリンピックを誘致する署名活動を実施した。活動に参加した東京ライオンズクラブ、東京千代田ライオンズクラブ、東京日比谷ライオンズクラブ、東京馬場先門ライオンズクラブ、東京有楽町ライオンズクラブのメンバーおよそ30人が数寄屋橋交差点を歩きかう人に声を掛け、募金や署名をお願いした。



地区内クラブだより

“第一回むさしの吉祥寺映画フェスティバル”を開催

11月1日～3日

東京武蔵野LC

東京武蔵野ライオンズクラブは、“湧き上がれ、熱きクリエイティブ魂!”とのキャッチフレーズで「第一回むさしの吉祥寺映画フェスティバル」の企画元でもある同クラブが中心となって実行委員会を組織して、2012年11月1日(木)～3日(土)まで三日間にわたり開催した。このイベントは、地元武蔵野市を舞台に24時間以内に短編映画を完成させる映画製作競技会「ムービーピック24」を核に、アニメや短編映画上映からトークショー・一般市民参加型のワークショップなど、多岐にわたる内容が盛り込まれており、クリエイターの発掘・育成を目的とした、新しい形の地域密着スタイル構築を目指している。

武蔵野LC名誉会員でもある武蔵野市長は「武蔵野市では、町の魅力を広くPRしていくため、公共施設をロケ地として提供するなど、観光推進機構のフィルムコミッション事業の支援を行っています」とコメントしており、さらに武蔵野LC正会員でもある地元商工会議所会頭は「武蔵野市はアニメ制作会社など、多くのコンテンツ企業が活躍する場所ですから、クリエイティブ魂の発掘・育成につながるイベントは応援したい」としてエールを送っている。スポンサーの

な役割を担う東京武蔵野ライオンズクラブの会長は「この映画フェスティバルは、地元から優秀なムービークリエイターを生み出し、コンテンツビジネスが盛んな武蔵野市活性化の一助となることを願っており、今後この映画フェスティバルがなお一層飛躍発展することを願っている」としている。フェスティバル開催を企画し、実施した主催者の一人でもあるL秋田克之(武蔵野ライオンズクラブ所属広報・武蔵野コンテンツ委員長)も「時間もお金もない中で、フェスティバルを開催できたのは奇跡とも言われているが、今後も若者パワーやウーマンパワーを集集して、さらなる奇跡につなげていきたい。」と熱く語っている。



レオクラブとともにウォーキング

11月11日

東京PHILレオクラブ、東京番町LC、東京隅田川LC

東京番町ライオンズクラブは、東京PHILレオクラブのメンバー、東京隅田川ライオンズクラブのメンバーと共に、都内をウォーキングして、レオクラブメンバーを励ますと共に、ウォーキングによる心身の鍛錬と健全な青少年育成を目指した。さらに「薬物乱用防止活動」に関する情報交換を行った。ウォーキングの道のりは墨田区役所うおい広場を出発して、言問橋を渡り、言問通りから入谷交差点、東上野、かっぱ橋通り、浅草寺、雷門、吾妻橋を通過して再び墨田区役所前に戻る約6Km。途中の公園で、医師から薬物乱用の恐ろしさを学んだ。



献血活動に服飾学校の生徒も応援

9月12日

東京巣鴨LC



2012年9月12日(水)巣鴨ライオンズクラブはJR巣鴨駅にて献血を呼びかける活動を行った。同クラブでは定期的に行っている奉仕活動で、今回は地元巣鴨にある学校法人池田学園の先生と女子生徒らも活動に参加した。女子生徒らの呼びかけに足を止める通行人も多く、今回は多くの献血志願者があったという。また、応援した池田学園も「これで少しでも社会貢献ができれば」と喜んでおり、今後もライオンズクラブとのコラボレーション活動を続けたいとしている。



「足立区フレンドリーマラソン」会場で署名活動

12月23日

5R3Z合同

5R3Zの東京白鷗ライオンズクラブ、東京城北ライオンズクラブ、東京西新井ライオンズクラブ、東京足立中央ライオンズクラブ(ゾーン・チェアパーソン(橋本初雄))は、2012年12月23日「足立区フレンドリーマラソン」の会場となった荒川河川敷・千寿新橋左岸において4クラブ合同のアクティビティとして、競技参加者の預かり荷物の受付と焼きそば、豚汁の販売等を行った。また競技参加者に対して、「オリンピック・パラリンピック招致支援委員会」から要請のあった2020年東京オリンピック開催の署名運動を行い、2,244名の署名を集めた。同日は曇り空で寒い日だったが、地区ガバナーも応援に駆け付けメンバーを励ました。



第33回小金井市新春たこあげ大会を支援

1月12日

東京小金井LC



2013年1月12日(土) 都立小金井公園内の「いこいの広場、こどもの広場」において小金井市などが主催する「第33回小金井市新春たこあげ大会」が開催され、東京小金井ライオンズクラブはメンバーが子供たちの「凧揚げ」を指導したり、会場整理をするなどして同大会をサポートした。同大会は市が「日本の伝統的な遊びの「たこあげ」を子供に伝承するとともに、小金井公園の豊かな自然の中で子ども同士の交流と家族団らの場を設け、未来を担う子どもたちの健全な育成とかかわる人同士のあいさつの励行を図る」目的で開催され、今年で33回目となる。参加した親子連れは約1000名、ライオンズクラブのメンバーは多くの参加者から「オリンピック招致の署名」も集めた。たこあげ大会では自作のたこや無料で配布されたたこを家族で操り、幼稚園から小学1年生～6年生までの各部門で、高く上げた人や家族力を合わせた人などが表彰され、子供たちは商品の「図書券」をもらって大喜び、広い(約80万㎡)小金井公園に家族の歓声が響いていた。



街で見かけるライオンズ活動の軌跡

JR巣鴨駅北口に最新の時計塔

東京巣鴨ライオンズクラブ

JR巣鴨駅北口の交番横に立っているのですぐ見つかる、おしゃれな時計塔は2004年2月に東京巣鴨ライオンズクラブが設置したもので、通行人に大変喜ばれている。それ以前にも時計塔が設置されていたが古くなったため、同クラブが最新の電波時計を寄贈したもので高さは6m70cmあり、今ではすっかり駅前の風景の一部になっている。



JR恵比寿駅前に「えびす像」

東京恵比寿ライオンズクラブ寄贈

JR恵比寿駅西口広場に福福しい「えびす像」があり、待ち合わせの目印にもなっている。CN10周年と国電恵比寿駅開業70周年を記念して、1975年に寄贈した。作者は木下繁氏。高さ110cm。賽銭箱も設置してある。



浅草寺本堂もライトアップ

東京浅草ライオンズクラブ寄贈

東京浅草ライオンズクラブが、設立5周年と10周年の記念に2回にわたって浅草寺の本堂を照らす大型の照明器を寄贈したもので、すでに約50年間に亘り本堂を照らし続けてきた。同クラブでは機器の老朽化に伴う再建築を検討しているとのこと。

2013 主要行事日程表

キャビネット会議

- 臨時第1回 2013年1月21日(月) 東京プリンスホテル
会議 ※元ガバナー・キャビネット構成員 賀詞交歓会 ※委員会副委員長・委員・SPA・複合地区委員
- 第3回 2013年3月18日(月) AP西新宿 ※キャビネット構成員
- 第4回 2013年6月10日(月) 東京プリンスホテル 会議・懇親会 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・SPA・複合地区役員

OSEALフォーラム

- 第52回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラム 2013年 11月7日～10日=MD308 シンガポール・マレーシア

国際大会

- 第96回国際大会 2013年7月5日～9日 ドイツ、ハンブルグ
- 第97回国際大会 2014年7月4日～8日 カナダ・トロント
- 第98回国際大会 2015年6月26日～30日 米国・ハワイ州ホノルル
- 第99回国際大会 2016年6月24日～28日 日本・福岡
- 第100回国際大会 2017年6月30日～7月4日 米国・イリノイ州シカゴ

年次大会

- 330-A地区(第59回) 2013年4月20日(土) 東京プリンスホテル
- 330複合地区(第59回) 2013年5月12日(日) ホテルニューオータニ



ライオンズクラブ国際協会 330-A地区 第59回年次大会 2013年4月20日(土)

登録のご案内

■一般登録締切 2013年3月31日(日)

各クラブにて出席者をとりまとめて、eMMR-ServannAによりご登録をお願いいたします。

また、eMMR-ServannAに会員登録のない同伴者、レオ・ライオンズ会員については専用登録票を各クラブ事務局にお送りさせていただきます。登録料は登録と同時にクラブ一括で指定銀行口座宛に送金手配をお願い致します。3月31日以降のキャンセルにつきましては、キャンセル料をいただきます。

■登録料

- 代議員総会および大会式典(代議員、代議員ホスト) 11,000円
- 大会式典(一般会員、同伴者) 5,000円
- 大会式典(家族会員2人目以降^{*}) 2,500円
- 晩餐会 10,000円

※家族会員1人目は世帯主(親会員)となります為、2人目以降の家族会員(子会員)を2,500円とさせていただきます。

■送金先

みずほ銀行 新宿西口支店 普通 4755898
ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
第59回年次大会 会計 細川 孝雄

■服装

平服

■登録変更期限

代議員は3月1日(金)まで。

但し、代議員登録締切日(2月18日)以降、eMMR-ServannAでの操作は出来なくなりますので、クラブ事務局へFAX変更用紙をお送りいたします。3月1日以降の変更につきましては、当日資格審査変更所にてお手続きをお願い致します。

■会場と交通のご案内

東京プリンスホテル

- ・JR線・東京モノレール浜松町駅から徒歩10分
- ・都営地下鉄三田線御成門駅(A1)から徒歩1分
- ・都営浅草線、大江戸線大門駅(A6)から徒歩7分
- ・都営大江戸線赤羽橋駅から徒歩7分
- ・地下鉄日比谷線神谷町駅(3番)から徒歩10分

■問い合わせ先

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区キャビネット事務局
TEL : 03-5330-3330 FAX : 03-5330-3370
E-mail : cab@lions330-a.org

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
地区ニュース 第3号(New Year号)

The
Lions
News

発行日 2013年1月20日
発行 広報委員会

広報委員会

委員長 柴田 誠(新都心)
編集長 宇埜 正純(巣鴨)
編集委員 山口 聖之(中央南)
桂 太郎(世田谷)
矢追 秀紀(ウエスト)
新田 尚志(麻布)
荒川友美子(千代田)

編集委員 後藤 裕文(法政)
増田 正明(田無)
中吉 淳喜(羽田)
高橋 美作(羽村)
特派員 秋田 克之(武蔵野)
津守 勝男(大森)
秋保 朋芳(小金井)

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザB館2F
TEL(03)5330-3330
FAX(03)5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org